

陸上ヨット 30人が体験

青い森アリーナ

風を帆に受けて陸上を走り、「陸上のヨット」とも言われる「ブローカート」



バンノートさん（右端）から操作方法を学ぶ参加者

の体験教室（日本ブローカート協会主催）が7日、青森市宮田の青い森アリーナで開かれた。東北6県では初めての開催となった。

ブローカートは、高さ約3〜4メートルの帆に風を受け、直径約30センチの車輪で走る3

輪車。手元のひもを引いて、帆を張ったり緩めたりすることでスピードを調節し、ハンドル操作で左右に曲がることのできる。ニュージーランドで2000年に始まったもので、日本では同協会が04年1月に設立され、普及活動を進めている。

現在の会員数は500人を超えるという。

この日は、同協会会長の直子・バンノートさん（33）と、夫のジミー・バンノートさん（45）が講師を務め、約30人がブローカートを実験した。参加者は、慣れないハンドル操作に戸惑いながらも、風を受けて走るス

ピード感を楽しんだ。

同市野内の中学生佐藤晴香さん（14）は、「最初は怖かったけど慣れたらおもしろい。機会があったらまたやってみたい」と話していた。